

平成 23 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 黒川木徳フィナンシャルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 工 藤 英 人
(コード 8737 大証第2部)
問合せ先 執行役員管理本部長兼総合企画室長兼財務経理部長 川中 雅浩
(TEL 03-6821-0606)

吸収合併及び株式交換に伴う特別利益(負ののれん発生益)等の 計上に関するお知らせ

当社は、平成22年5月20日付のプレスリリース「株式会社クレゾーとの吸収合併に係る吸収合併契約及び黒川木徳証券株式会社との株式交換に係る株式交換契約の締結並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動（見込み）に関するお知らせ」及び平成22年6月9日付のプレスリリース「当社と株式会社クレゾーとの吸収合併及び当社と黒川木徳証券株式会社との株式交換に関するお知らせ」において公表しておりました株式会社クレゾーとの吸収合併及び黒川木徳証券(株)との株式交換に伴い、負ののれんが発生いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、平成22年11月12日付のプレスリリース「吸収合併及び株式交換に伴う株主資本の変動及び株式交換に伴う特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ」において、株式交換に伴う特別利益（負ののれん発生益）については既にお知らせしておりますが、計上額に変更がありますので、改めてお知らせいたします。

記

1. 吸収合併に伴う特別利益（負ののれん発生益）等の計上について

当社は、平成22年10月1日付で、親会社である(株)クレゾーを吸収合併消滅会社、当社を吸収合併存続会社として合併しておりますが、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）第212項に基づき、子会社である当社の個別財務諸表における合併に係る処理を振り戻し、当該合併以前の(株)クレゾーの連結財務諸表における処理を合併後も継続すると共に、(株)クレゾーが当社の少数株主から株式を追加取得したものとして会計処理を行っております。

この処理により、固定負債に負ののれん2,270,216千円を、営業外収益に負ののれん償却益187,860千円を、特別利益に負ののれん発生益1,253,028千円を、それぞれ計上いたします。なお、(株)クレゾーは当社株式の取得に伴い平成20年9月末に3,225,204千円、平成22年3月末に709,789千円の負ののれんを計上しており、発生時より5年間の定額法により償却を行っております。

2. 株式交換に伴う特別利益（負ののれん発生益）の計上について

平成22年10月1日付で、当社を完全親会社とし、黒川木徳証券㈱を完全子会社とする株式交換を行いました。

これにより、特別利益に負ののれん発生益846,154千円を計上いたします。

3. 今後の見通し

上記については、平成23年3月期第3四半期連結累計（会計）期間の連結財務諸表に反映する予定であります。

以 上